

【目 的】

福井名物の越前おろしそばと福井の地酒や酒の肴を楽しめる店舗を「そば」と「B A R」を合成した「S O B A R（ソバール）」としてブランド化し、駅周辺の店舗で味わっていただくことにより、福井が誇るそばの食文化を新たな視点で発信する。

【戦略および内容】

SOBARのブランド化

認定制度の創設により「SOBAR」をブランド化し、福井が誇るそば文化をまちなかから発信し、県内全域に広める。

○認定制度の創設

- ・SOBARメニューを設定した店舗をSOBAR店舗として認定
- ・SOBAR店舗に認証プレートを配布
- ・統一のロゴを活用したSOBARメニュー表を各店舗で作成

【SOBARメニュー】	
そば	福井県産そば粉を使用（一部使用でも可）
地酒	福井県内の蔵元、メーカーの地酒等を提供
肴	福井名物のおつまみ・デザート、コラボメニュー等を提供

【SOBARメニューの具体例】	
そば	おろしそば、あげおろし、天おろし、ざるそば等
地酒	一本義、梵、黒龍、常山等
肴	汐雲丹、へしこ、油揚げ、お幸ざい（たくあんの煮たの、麩の辛子和え等）、ソースカツ、そばがき、板わさ、焼鯖寿司、そば豆腐、水ようかん、そばアイス、ガレット等

○SOBAR店舗プロモーション

- ・福井県のそば情報サイト「そばオンライン」、その他観光サイトにSOBAR店舗の情報を掲載
- ・SOBAR店舗の情報を掲載したマップを作成し、宿泊施設等へ配布
- ・食べ歩きスタンプラリー等のSOBAR店舗共同キャンペーンを実施

SOBAR店舗の普及・展開

知見を有するそば関係団体や事業者との連携により、SOBAR店舗の戦略的な普及・展開を図る。

○SOBAR店舗の普及

- ・福井駅を中心に徒歩15分（1km）圏内の飲食店にSOBAR店舗の認定を働きかけ
- ・今年度の認定目標：20店舗

○SOBARシェアキッチン

地域のそば名店やそば打ち名人、そば愛好グループが交代でSOBARメニューを提供し、観光客等がそば打ち体験できるシェアキッチンを開設

シェアキッチンの 利用方法	そば名店による出張出店
	素人そば打ち名人、そば愛好グループによる日替わり または週替わり出店
	観光客等のそば打ち体験
店舗（案）	越前蕎麦倶楽部店舗を活用（夜間限定）

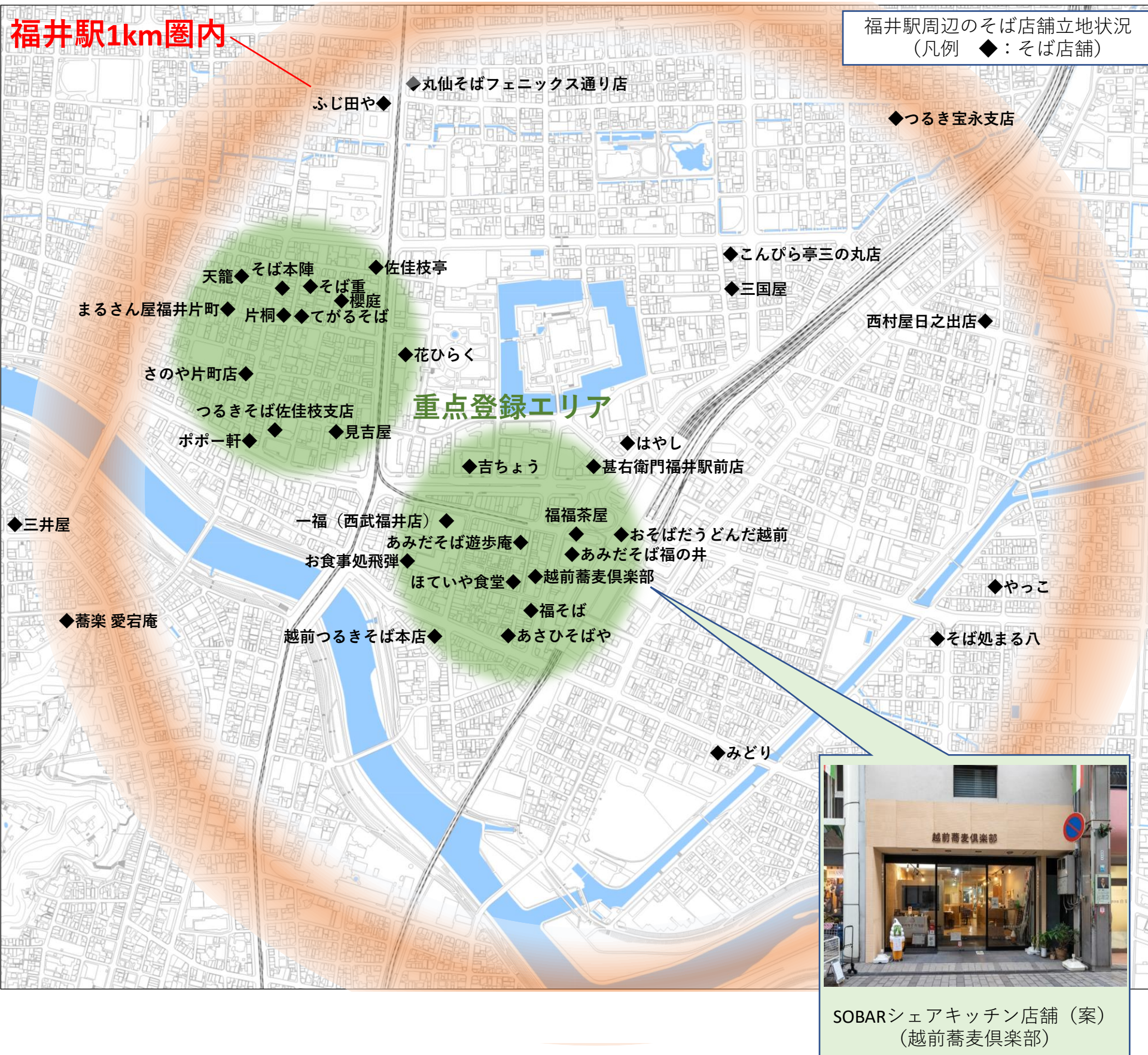
○SOBARコンセプトショップ

SOBARメニューを提供するコンセプトショップ（仮設店舗・ブース）をイベント出店

【実施計画（案）】

内容	実施主体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【SOBARのブランド化】 ・認定制度の創設 ・SOBAR店舗プロモーション	商工会議所	認定基準設定・ロゴ・イメージ等の製作		SOBARの広報・プロモーション	
	商工会議所		情報サイト・マップ製作 SOBAR店舗 共同キャンペーン	SOBAR店舗 共同キャンペーン	SOBAR店舗 共同キャンペーン
【SOBAR店舗の普及・展開】 ・SOBAR店舗の普及 ・SOBARシェアキッチン	商工会議所	SOBAR店舗募集・登録	出店	SOBAR店舗の拡大	
	会議所・そば店等	出店調整	出店	シェアキッチンの運営	

越前おろしSOBARプロジェクト 想定エリア



SOBARメニュー・SOBARロゴ(イメージ)

A店SOBARメニュー表



B店SOBARメニュー表



美と福の歴史見える化プロジェクト

【目的】

福井駅周辺に数多く存在する歴史スポットやパワースポット、福井にゆかりのある歴史人物に光を当て、観光客が楽しめる消費できるコンテンツの造成や環境整備を行うことにより、かつての城下町を中心とする地域の宝に見える化する。

【戦略および内容】

歴史資源の掘り起こし、磨き上げ 歴史エピソードの脚色・エンタメ化

歴史資源の掘り起こしやパワースポットの活用により、歴史スポットの魅力向上を図り、周遊環境を整える。
埋もれている歴史資源をストーリー化し、魅力あるコンテンツに仕立てることで、稼ぐ・儲けるプレイヤーを創出する。

福井城址の磨き上げ・エンタメ化

- 坤櫓・土堀等の復元
県民の気運の高まりをもとに、福井駅から見える坤櫓や土堀等を復元
- 石垣のライトアップ
歴史的価値の高い石垣を知ってもらうため、常設によるライトアップを実施
- 城址周辺の周遊促進
福井駅周辺や中央公園等においても往時の姿を体験できるよう福井城復元V Rアプリの機能を拡充
V Rアプリ等も活用した解説付きまち歩きの実施
- 山里口御門内の案内映像の充実
福井城に関する映像やクイズ機能、周辺歴史スポットの紹介映像を追加
- 城址への親しみを深めるイベントの開催
お堀での遊覧船運航や、石垣のプロジェクションマッピング等のイベントを開催

北ノ庄城址の磨き上げ・エンタメ化

- 美の聖地化
戦国一の美女お市の方にあやかり、定期的に「美」をテーマとしたイベントを開催し、「美」のスポットとして聖地化
- 美関連商品の開発・プロモーション
デザイナー等専門家を活用し「美」をテーマとした統一のブランドを立ち上げ
「美」に関連した商品・サービスの開発や共同販促・PRを実施
- 北の庄城址資料館の機能強化
歴史ボランティア「語り部」を増員し、来訪者案内を強化
柴田勝家・お市の方の歴史映像や周辺歴史スポットの紹介映像の放映

まちなか歴史スポットの周遊促進

- 城址等への動線の環境整備
歴史スポットをつなぐ看板等の設置や、歴史のみち等の歩道に歴史情報を盛り込んだ案内タイルを設置
- 新モビリティ「ふくとく」を活用した周遊促進
福井駅周辺の歴史スポットや足羽山周辺のパワースポットをめぐる「ふくとく」の定期運行
- 福井駅周辺歴史スポット周遊ツアーの実施
ふくい観光おもてなしガイドがエスコートする観光客向け周遊ツアーを実施
観光事業者を対象におもてなし力向上を図るモニターツアーを実施
- 震災メモリアルスポットの整備
震災遺構（三井住友信託銀行）の説明板等を設置
- 歴史スポットへの周遊促進を図るイベントの開催
愛宕坂の灯の回廊や、養浩館庭園でのお茶席等のイベントを開催
- 歴史スポットの紹介映像放映
山里口御門、北の庄城址資料館に加え、グリフィス記念館において、歴史スポットの紹介映像等を放映

【実施計画（案）】

内容	実施主体	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			令和4年度		令和5年度		令和6年度	
坤櫓・土堀等の復元	県		フォーラム開催、文献調査		整備手法の検討・調査設計等			
石垣のライトアップ	県		石垣（西側）のライトアップ設計・整備		ライトアップの実施			
福井城址周辺の周遊促進	県		まち歩き		V Rアプリの機能拡充（まち歩き）		V Rアプリの運用（まち歩き）	
山里口御門内の案内映像の充実	県		福井城に関する映像等の追加		放映		歴史スポット映像の追加	
福井城址のイベント	県・民間	イベント	イベント		イベント・プロジェクションマッピング		プロジェクションマッピング	
北ノ庄城址美の聖地化	商工会議所等	イベント	イベント		北ノ庄城址「美」の聖地化（イベント）		イベント	
美関連商品開発・プロモーション	商工会議所		「美」関連商品・サービス開発		「美」関連商品・サービス販売・プロモーション			
北の庄城址資料館の機能強化	福井市				歴史ボランティア「語り部」増員		歴史映像等の放映	
城址等への動線の環境整備	県・福井市		動線整備の検討		案内タイルの設置			
新モビリティを活用した周遊促進	商工会議所等	実証実験	実証実験		ふくとく定期運行			
歴史スポット周遊ツアーの実施	観光協会等				観光客向け周遊ツアー・モニターツアー等			
震災メモリアルスポットの整備	福井市等		説明板等設置の検討				説明板等の設置	
歴史スポットへの周遊促進イベント	福井市		愛宕坂灯の回廊（3・4月）、養浩館庭園お茶席（4月・10月）アート展示（冬期）、グリフィス記念館クリスマスイベント（12月）					
歴史スポットの紹介映像放映	県・福井市等		映像の内容検討		映像の制作		放映	

観光素材集約

全国宣伝販売促進会議

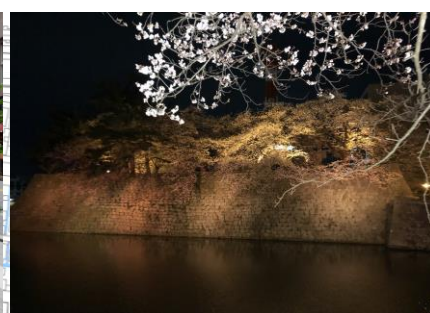
開業

北陸DC

美と福の歴史プロジェクト 全体概要図



坤櫓の復元(イメージ)



福井城址石垣のライトアップ



養浩館庭園
(ライトアップ・お茶席・アート展示等)



ふくとくを活用した
駅周辺歴史スポットの周遊



案内映像の充実



VRを活用したまち歩き



お堀の遊覧船運航



グリフィス記念館
(クリスマスイベント・紹介映像の放映)



愛宕坂(灯の回廊)



ふくとくを活用した
足羽山周辺パワースポットの周遊
(毛谷黒龍神社・朝日山不動寺等)



動線の環境整備
(案内タイル設置 ※鎌倉市長谷寺の例)



福井駅周辺歴史スポット
周遊ツアー



北の庄城址資料館の機能強化
(語り部の増員・紹介映像の放映)



北ノ庄城址「美」の
関連商品の開発
(例:地酒フェイスマスク)



北ノ庄城址「美」の聖地化イベント
(例:北ノ庄酒粕足湯)



震災メモリアルスポットの整備
(三井住友信託銀行)

ウェルカム恐竜増殖プロジェクト

【目 的】

- ・ 福井駅周辺に恐竜をテーマにした様々な仕掛けを行うことにより、訪れた方に「恐竜といえば福井」を強烈に印象づけ、“福井に来た”というワクワク感を醸成する。
- ・ 多様な恐竜コンテンツを連続して配置することにより、来県者が回遊・憩いにぎわうエリアを創出する。

【戦略および内容】

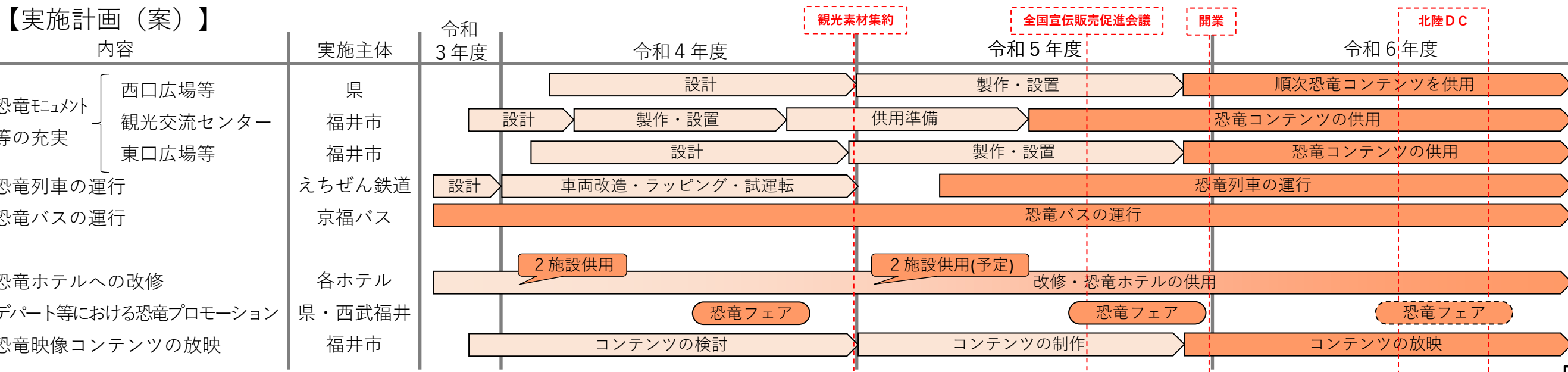
見て楽しい・体験して楽しい仕掛けづくり

恐竜モニュメントの追加やA Rアプリの製作、恐竜ホテルへの改修などにより、駅周辺を恐竜にあふれたインパクトのある景観と他では味わえない恐竜体験が楽しめる空間にする。

- 恐竜モニュメント等の充実
恐竜モニュメントの設置やデジタル技術を活用したコンテンツの整備、恐竜の足跡や影の歩道へのペイントや恐竜博士ベンチ等の設置により、歩いて楽しめる回遊空間を整備
 - ・ 福井駅西口エリア：福井駅西口広場、中央大通りの歩行空間、西武福井店周辺
 - ・ 福井駅東口エリア：福井駅観光交流センター屋上、東口駅前広場、北陸電力福井支店壁、歩行者専用通路等
- 恐竜列車の運行（えちぜん鉄道 福井駅～勝山駅）【二次交通プロジェクトと共通】
車両の外装には恐竜ラッピングを施し、内装には恐竜時代にタイムスリップしたかのような雰囲気を出した2両1編成の「恐竜列車」を運行
- 恐竜バスの運行（J R 福井駅～恐竜博物館）【二次交通プロジェクトと共通】
恐竜ラッピングされたバスで専用アテンダントが恐竜博物館や周辺観光地の解説をし、車内で恐竜A Rが楽しめる「恐竜バス」を運行（土日祝に片道6便運行）

- 恐竜ホテルへの改修
駅周辺ホテルの宿泊室・共用スペースを恐竜仕様にリニューアルし、恐竜オブジェ、恐竜デザインアメニティ、ぬいぐるみや絵本などを設置することにより、恐竜気分を演出（現在、リバージュアケボノ12部屋、ホテルフジタ1部屋供用中）
- デパート等における恐竜プロモーションの実施
西武福井店において恐竜を活用した集客イベントを開催（恐竜骨格の展示、恐竜グッズの販売、D I N O - A - L I V Eショー、化石発掘体験など）
- 恐竜の映像コンテンツ放映
ハピリン内のプラネタリウム等において恐竜を活用した映像を放映

【実施計画（案）】



ウェルカム恐竜増殖プロジェクト イメージ図

(※ 整備する恐竜コンテンツは案の段階)

凡例：
整備中 整備済
 ・整備中 ・整備済



二次交通エンタメ化プロジェクト

【目 的】

観光地が点在することを前向きに捉え、福井駅周辺からの移動を楽しめる仕掛けをつくることにより、観光客の満足度を高め、リピーターにつなげる。

【戦略および内容】

乗りたくなる仕掛けづくり

「この乗り物に乗ってみたい」と思わせるような車両を運行する。

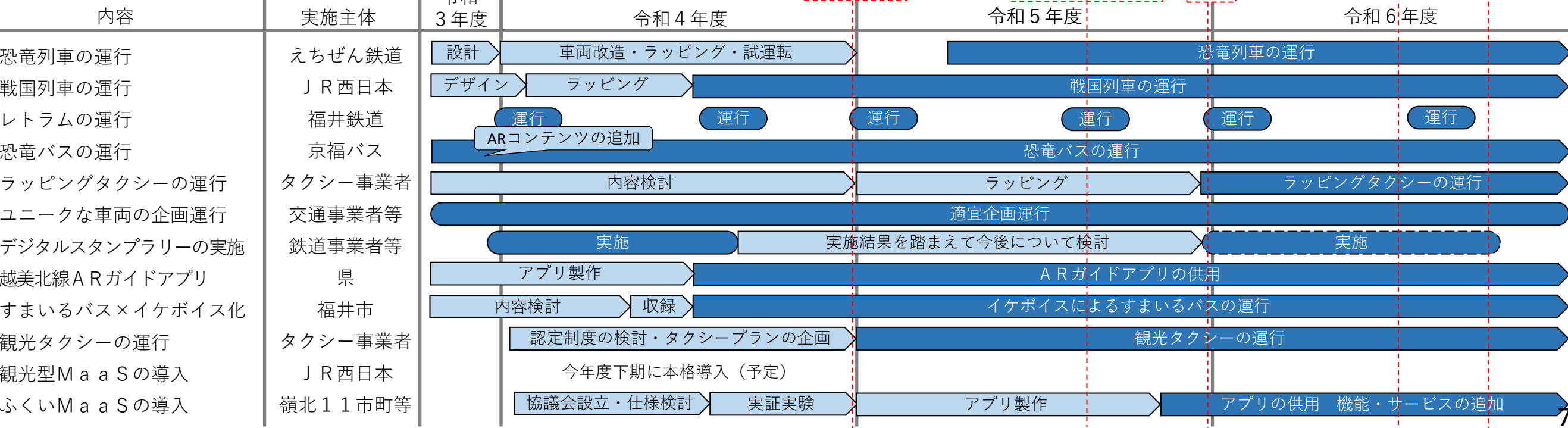
- 恐竜列車の運行（えちぜん鉄道福井駅～勝山駅）【恐竜プロジェクトと共通】
車両の外装には恐竜ラッピングを施し、内装には恐竜時代にタイムスリップしたかのような雰囲気演出した2両1編成の「恐竜列車」を運行
- 戦国列車の運行（ＪＲ越美北線）
一乗谷朝倉氏遺跡や越前大野城下町に向かう車両に戦国を想起させるデザインのラッピングを施した「戦国列車」を運行
- レトラムの運行（福井鉄道福井駅～越前武生駅）
ドイツで路面電車として運行していた車両「レトラム」の季節運行とバスを組み合わせた観光ツアー等の企画・実施
- 恐竜バスの運行（福井駅東口～恐竜博物館）【恐竜プロジェクトと共通】
恐竜ラッピングされたバスで専用アテンダントが恐竜博物館や周辺観光地の解説をし、車内で恐竜ＡＲが楽しめる「恐竜バス」を運行（土日祝に片道6便運行）
- ラッピングタクシーの運行（ＪＲ福井駅前発着）
福井の観光地や歴史的人物などをラッピングした観光タクシーを運行
- ユニークな車両の企画運行
二階建てオープントップ型のロンドンバスや新モビリティ「ふくトック」、かにのラッピングを施した「越前がにバス」など、普段は乗る機会のないユニークな車両をイベント的に運行

乗って楽しい仕掛けづくり

観光地等への移動中も車内で楽しめるコンテンツを充実させる。

- 鉄道と「駅メモ」がコラボしたデジタルスタンプラリーの実施
福井鉄道とえちぜん鉄道の11駅と各鉄道沿線の観光地9か所において、スマホの位置情報を利用したスタンプラリーを実施し、主要駅においてフィギュアやクリアファイルなどのコラボグッズを販売
- 越美北線ＡＲガイドアプリの導入
武将キャラクター等が登場するＡＲや、地元有名人等のメッセージ動画など、一乗谷朝倉氏遺跡へ向かう乗客が駅や車内で楽しめるスマホアプリを導入
- すまいるバス×イケボイス化プロジェクト
福井市内を周遊するすまいるバスにおいて、人気声優による車内放送（録音）を実施
- 観光タクシーの運行
多彩な観光タクシープランの企画・実施
- 観光型M a a Sの導入
新幹線をはじめとする鉄道に加え、現地でのバスなどの交通機関や観光地の入場チケットを含め、出発地から目的地までの全行程について、スマートフォンでシームレスに検索・予約・決済ができる観光型M a a Sを導入
- ふくいM a a Sの導入
複数の公共交通やそれ以外のサービスを最適に組み合わせて検索や決済等を一括で行うことができるスマホアプリを導入

【実施計画（案）】



二次交通エンタメ化プロジェクト 全体概要図



ふくトック



三成タクシー（長浜市等）



恐竜列車の運行

（写真：改造する車両（静岡鉄道HPより））



恐竜バスの運行



ロンドンバス



越前がにバス

ユニークな車両の企画運行



レトラムの運行



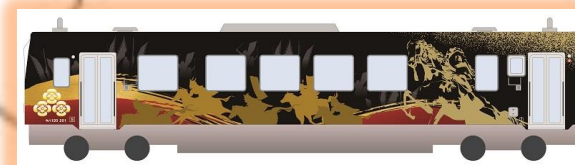
すまいるバス×イケボイス化

ラッピングタクシーの運行
観光タクシーの運行
（写真：他県の事例）

福井駅

恐竜博物館

一乗谷朝倉氏遺跡



戦国列車の運行



ARガイドアプリの導入



デジタルスタンプラリーの実施



観光商品企画（関連グッズ販売）
（写真：福井鉄道HPより）



観光型MaaSの導入

（写真：瀬戸内エリアのMaaS「setowa」
（JR西日本HPより））



ふくいMaaSの導入

開業イベント

地域資源を活かしながらインパクトのあるイベント等を新幹線開業前後に開催し、開業効果を最大限に高め、交流人口を拡大する。

○開業イベントの開催

- ・開業1年前に、福井駅前のハピテラスにおいて各市町（福井市、大野市、勝山市、永平寺町）が連携し、市民参加型のイベントを開催（R5.3）
- ・開業年に、カウントダウンイベント等を開催（R5～）
- ・開業日に、福井駅周辺で歓迎イベントを開催（R6.3）

○開業機運醸成に向けた取り組み

- ・開業時に県内外の観光客をお出迎えするためのウェルカムダンスを制作し、普及のための出前教室を各地で開催（R3～）
- ・新駅舎などの鉄道施設の大規模見学会を4か所で開催（R3.8～11）
- ・石川県と連携し、金沢から敦賀までの新幹線沿線道路をリレーでつなぐウォーキングイベントを開催（R4.9）
- ・開業に向けた県民メッセージ動画の制作や企業を巻き込んだ開業ドラマの放送など、県内企業等と協力した事業を展開（R5.3）
- ・親子が集まるイベントなどにブースを出展し、新幹線開業をPR（年10回）
- ・都心の企業と県内企業が連携し、首都圏で集客イベントを開催
- ・福井駅前で県内企業による地元食材を使ったイベントを開催

○全国から人が集うイベントの企画、開催

- ・中央公園において全国でも珍しいまちなか音楽フェス「ワンパークフェスティバル」を開催（R元～）
- ・まちなかで桜を楽しむ「ふくい桜まつり」を開催（R4.3～4）
（ライトアップやデジタルアート等の夜間景観の演出、中央公園でのイベント、足羽川河川敷やまちなかの周遊観光促進事業、シャトルバスの運行など）
- ・美しい桜、新幹線並走、恐竜など、福井の魅力を楽しむフルマラソン大会「ふくい桜マラソン」を開催（R6.3）
- ・足羽川堤防の桜並木を「お市桜」として、ブランド化



完成したダンスを初披露



新幹線大規模施設見学会



開業2年前イベント



ふくい桜マラソンロゴマーク

観光情報発信

福井に関する情報への接触機会を飛躍的に高めることにより、福井の認知度を向上させ、観光意欲につなげていくこととし、一過性に終わらないムーブメントを創出する。

○北陸三県やJR等との協働による情報発信の強化

- ・北陸三県が連携して大手旅行会社の誘客キャンペーンを誘致（R4年度上期「北陸キャンペーン」阪急交通社、下期「ニッポン旅列島」近畿日本ツーリスト）
- ・JR6社と自治体、地元の観光事業者等が共同で実施する国内最大級の大型観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」を開催（R6.10～12）
- ・首都圏の主要駅（約120駅）において、観光ポスターを掲出（年4回、各1週間）
- ・観光事業者による着地型旅行を企画し、関連企業に対し情報発信

○観光案内機能の強化

- ・福井市観光交流センター（R5.10供用開始）内に、県内全域の観光情報を提供する観光案内所（R6.3）を設置

○人の集まる場所での誘客イベント

- ・東京丸の内周辺においてイベントや物産展などを集中的に開催する大規模なプロモーションを実施
- ・JR上野駅（6月）、長野駅（7月）、大宮駅（1月）において出向宣伝を実施
- ・名古屋駅、大阪駅等において広告およびイベントを実施
- ・民間企業において、開業時に関東の店舗と共同で福井フェアを開催（R5）

○若者や女性をターゲットとしたSNSでの情報発信

- ・県民自らが福井のおすすめスポットやグルメを発信するインスタグラムフォトコンテストを開催（R2～）
- ・若者受けするとがった福井の観光PR動画を制作し、YouTubeにおいて発信（R2～）
- ・写真映えする「粋福（ふくいっぶく）グルメ」として、福井の食材を使った新グルメを開発し、市内飲食店で提供（R3.6～）
- ・福井の誇る観光地、食、伝統工芸等をPRする新たな観光プロモーション動画を制作（R4）

○イメージロゴ「福いいネ！」を活用した情報発信

- ・民間事業者による「福いいネ！」ロゴを活用したグッズを制作（R2～）
- ・「わたしの福いいネ！フォトコンテスト」を開催（R2～3）
- ・社会学者で作家の古市憲寿さんと福いいネ！くんによるポスターを制作（R4.5）
- ・古市憲寿さんや福井市ゆかりの著名人が出演するプロモーション動画を制作（R4.5）
- ・「マイ福いいネ！動画コンテスト」を開催（R4.7～9）
- ・開業直前には、首都圏等に向けたプロモーションを集中的に展開（R5～）



JR上野駅出向宣伝



インスタグラムフォトコンテスト



粋福グルメ

福いいネ！を活用した情報発信 民間事業者によるグッズ制作（ごはん、パフェ、パエリア、こびり）

おもてなし向上

「県民参加」と「市町協働」により、基本的なサービス提供を前提に、より高いサービス提供を行うことで、多くの方が何度も旅行し消費をしてくれる仕掛けをつくる。

- おもてなしレベルの向上、見える化
 - ・県内観光事業者を対象としたサービス品質向上セミナーを開催し、国創設のおもてなし規格認証の取得を支援
 - ・地域、団体、ボランティア等と継続的に意見交換し、来訪者を温かくお迎えする「おもてなしプレーヤー」の育成や支援
 - ・オンラインでのおもてなしセミナーを開催（R 2～）
 - ・民間企業において、福井駅周辺の隠れた名店・名所・食事処MAPを作成（R 4）
- おもてなし県民運動の実施
 - ・県内企業、団体が開業に向けて取り組むおもてなしの活動を募集し、おもてなし機運を醸成（R 2～）
 - ・県内企業において、観光地周辺の清掃奉仕を実施（R 3～）
- 観光おもてなし市民運動の取組み
 - ・観光おもてなし市民運動推進会議の開催
 - ・観光おもてなし体験だよりの募集および感動おもてなし大賞の決定
 - ・観光おもてなしマイスター、スーパーマイスター認定研修および認定試験を実施



おもてなし宣言291



おもてなし向上オンライン研修



おもてなし講習会



スーパーマイスター認定



感動おもてなし大賞

【主な事業の実施計画（案）】

